

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第2回益田市部活動地域移行推進協議会
開催日時	令和6年11月20日（水）10時00分～12時00分
開催場所	益田市市民学習センター 203 研修室
出席者	<p>[協議会委員] 大賀肇委員、大達隆人委員、矢富實委員、陶山勝委員、羽柴貴宏委員、豊田邦昭委員、日高慶三委員、並河智之委員</p> <p>[事業担当課] 学校教育課 田原課長、房野参事、 寺戸部活動地域移行コーディネーター 協働のひとづくり推進課 中島課長補佐、石川主任 文化振興課 田原課長補佐</p>
議題	<p>(1) 部活動の地域移行に関する取組の進捗状況</p> <p>(2) 連盟、協会、地域クラブ等との連携の在り方について</p> <p>(3) 児童生徒、保護者、教職員への意見聴取について</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
審議経過 (地域移行CN)	<p>1. 開 会</p> <p>2. 協 議</p> <p>(1) 部活動の地域移行に関する取組の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行に関する取組の進捗状況について説明します。11月に部活動の地域移行に関する関係諸団体等との協議を計画しました。協議対象者は、益鹿中体連各専門委員と各競技の協会や連盟の事務局の担当者、総合型スポーツクラブの担当者です。現在、益鹿中体連各専門委員との協議まで終わりました。各競技の協会や連盟の事務局の担当者、総合型スポーツクラブの担当者との協議は来週から始める予定です。また、吹奏楽についてもキーパーソンとなりそうな吹奏楽部担当者と協議する予定です。益鹿中体連各専門委員との協議では、昨年度以降の地域移行の取組を説明した後に、地域移行に対する考え、市の協会や連盟の取組や情報、地域クラブ等の情報について各専門委員の方に意見や情報をいただきました。地域移行に対する考えは、こうした方がうまくいくのではないかと、こういったことが必要であるとか、こういった課題が懸念されるなどの各専門委員の方の個人的な意見であり、すべての関係者の総意や決定したことではありませんのでご承知おきください。また、地域クラブ等の情報については、ここに掲載されている団体が全てではありません。話題として出たものを掲載していますのでご了承ください。 ・陸上競技は、益田陸上教室に中学校の部が設置できるとよいという意見でした。益田陸上教室は小学生が中心で中学生はほとんどいま

せん。現在、指導体制の関係で会員の募集も停止しています。また、拠点校部活動が可能になれば陸上部のない学校の生徒も参加でき、合同部活動がより一層やりやすくなり、部活動による校区外就学も減るのではないかという意見でした。陸上は個人競技で、種目ごとに指導できる方が限られているので、益田陸上教室に指導者が集まって種目に分かれて指導できると、他の地域クラブが新たにできなくても地域移行ができるのではないかという話でした。現在も競技場で、12月から3月の休日に浜田市と合同で教室を月1回実施していて、益田市は部活動または個人の自由参加、浜田市は陸協主催の教室として参加して、部活動や教室の指導者が集まり役割分担をして指導をしておられます。最後に、保護者の経済的な負担をできるだけ減らしていきたいということで、行政の財政面での支援が必要であるとのことでした。

- ・バレーボールは、休日だけの地域移行は休日の活動に意義が感じられないのではないかということでした。これは休日の活動となると、バレーボール教室などの地域クラブ等に教員が地域の指導者として指導に関わることが予想され、そうなった場合に、平日は部活動のチームづくり、休日は違う集団のチームづくりとなり、2つを目指すとなると、休日の方にも力を注ぐというのは難しいのではないかという意見でした。部活動がなくなった方が地域移行しやすくなると思うので、平日の地域移行の完全実施の期限を決めた方がよいのではないかという意見でした。また、小学生の地域クラブは現在、安田と高津がありますが、そこに中学生対象を開設して、小中で一貫した行うことも考えられるという意見でした。さらに、中3女子を中心とした地域クラブ設立を検討しておられる高校の教員がおられるとのことでした。益田高、翔陽高、明誠高が中学生対象のバレーボール教室については国スポ対応なので、国スポ終了後に新たに発展するかどうかはわかりません。バレーボールも財政面の支援が欲しいということと、地域クラブ設立のノウハウがわからないので支援していただきたいとのことでした。
- ・軟式野球は、地域クラブ等の情報として、現在、野球連盟の活動の一環で、益田鹿足クラブが毎週土曜日に活動しています。これは、中体連の野球専門部が教員の立場ではなく、地域指導者として指導に当たっています。また、AMBCという硬式野球のクラブチームが中学3年生を対象に毎週日曜日に活動をしています。これは地域の方が指導に当たっておられます。そういった状況の中で、総合型地域スポーツクラブの傘下に入って、野球以外の様々な活動ができる環境が作られるとよいということや、各競技が運動公園を拠点とした運営ができるとよいのではないかという意見でした。今後の課題としては、活動場所の確保が必要で、特にナイターがないと平日の地域移行は難しいということや、鹿足郡の生徒の平日の輸送が今後の課題であるということでした。
- ・サッカーは、検討するための材料となる具体的なことが示されていないので、地域移行について考えることが難しいということでした。

特に、平日の地域移行となると、ナイター設備不足など活動場所や設備が十分されていない状況では、新たに受け皿としての地域クラブを立ち上げるのは難しいという意見でした。

- ・バスケットボールは、地域クラブ等の情報として、男子は益田東クラブとバディーズとバンディッツがあり、女子はブレイカーズと横田クラブと高津があります。地域クラブがこれだけあるので、現状のチーム数のままで地域クラブでの指導を希望する地域の方や、教員がどこかの地域クラブチームに所属するのがよいという意見でした。また、スポーツ少年団の経験者と中学校で始めた生徒の技能差が大きいので、経験の浅い生徒の受け皿の確保が必要であるということでした。さらに、女子チームの指導者は高齢化しており、確保が難しいことや、地域クラブの活動時間は部活動より遅くなるので、そのことによる生徒や指導者への影響が心配であるということでした。
- ・ソフトテニスの地域クラブ等の情報として、現在、スポ少はジュニアSTキッズと益田STCがあります。ジュニアSTキッズには中学生も在籍しています。また、小学校の教員が部活動ではなく、地域のサークル的な活動として益田中の3年生を指導しているというものもあります。ジュニアの小学生は強く、県大会でも上位がほとんどジュニア出身の生徒で、中学生で始めた生徒はなかなか勝てないそうです。部活動があるうちは、中学校は緩やかな部活動を実施する方がよいのではないかという意見でした。課題としては、鹿足郡などの遠距離の生徒の移動手段や、保護者への経済的な支援の在り方、部活動による生徒指導等の教育効果が得られなくなるので、それをどこで補うかといったことが課題であるとのことでした。
- ・卓球の地域クラブは、SHIPスポーツと球心会と南クラブと岸卓球塾があります。地域移行の考えについては、とりあえず休日は現存の地域クラブで活動するとよいのではないかという意見でした。課題としては、活動場所の確保と財政面の支援が必要であるということや、部活動がなくなることへの保護者の不安があるのではないかということでした。
- ・柔道は、地域クラブで益田柔道教室と柔楽舎益田教室があり、益田柔道教室は連盟が運営しており、競技力の育成だけでなく、指導者としての育成も目指しています。連盟の理念がしっかり反映されている地域クラブであると感じました。部活動がなくなれば、益田柔道教室が担うとのことでした。課題としては、活動場所の拡充と財政面の支援が必要で、特にエアコンの設置が必要であるとのことでした。部活動の競技の中では柔道がもっとも地域移行に対する体制ができていると感じました。
- ・以上が各競技の専門委員との協議の内容ですが、今回の話し合いで競技によって置かれている状況は違うので、一律での取り組みは難しいと感じました。今回の協議でいろいろな課題があげられましたが、活動場所の確保の課題、財政面の課題、指導者確保の課題で、指導者確保については新たな地域指導者を見つけるのはなかなか難

	<p>しいです。教員で兼職兼業の許可を受けて地域クラブに関わることを希望する教員が2年前に20名程度確認できましたが、これらの教員がどのような形で関わってくれるのかによって指導者確保の課題は大きく変わっていくと思います。以上が各専門委員との協議した内容です。質問や意見がありましたらお願いします</p>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・先程、柔道教室が一番受け入れ体制など、移行についてスムーズにいくのではないだろうかということでしたが、それは場所の問題、財政的な問題、指導者の問題の3つの点からという意味でしょうか、それとも意欲というところでしょうか。
(地域移行 CN)	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道教室の練習場所は少し狭いですが、小学生と中学生の練習時間をずらして行うなど運営の仕方が工夫されています。また、益田柔道教室は益田市柔道連盟のバックアップを受けているので、指導者が常に5人以上指導に当たっています。さらに、この柔道教室を存続させていくために、指導者の育成といったビジョンが共通認識されています。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道以外の競技について、協会や連盟が運営しているものはありますか。
(地域移行 CN)	<ul style="list-style-type: none"> ・益田陸上教室は益田市陸上競技協会の普及部が運営をしています。バレーボール教室は益田市バレーボール協会が運営をしています。軟式野球の益田鹿足クラブも益田市野球連盟の活動であると聞いています。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・市の協会や連盟の支援は大ききがあるかもしれませんが、それぞれ一定の力添えというのは運営しているかどうかはともかくとして、それぞれにあるのですね。
(地域移行 CN)	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれにあります、柔道が体制としては繋がりが強いと感じました。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブの団体が益田市にいくつかあり、その団体と協会や連盟との関係はうまくいっていますか。サッカーはどうですか。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーのスポーツクラブはサッカー協会に所属していますので、うまくいっていないことはありません。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の関係がうまくいっているとかうまくいかないとか、そういうことはないのでしょうか。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーはクラブチームの数が多いのでどうでしょうか。自分のクラブチームだけに協会や連盟が何かしてくれるというのはないのですが、例えば、陸上競技や柔道はクラブチームや競技人口が少ないので、協会や連盟が主導になり、そこに入っていったクラブチームという感じになると思いますが、協会や連盟との連携はそれぞれとれていると思います。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・連携がうまくいかないと問題が起こるもとなる気がしますので、連携をうまくしていけないといけないと思います。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道などは道がつくので、いろいろな道があつて違いがあります。その部分に分かれれば当然連携は出てくるとは思います。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・昔から感じるのですが、系列のようなものがあります。それにうまく乗っかっていくとよいのですが、そうでないと吹奏楽でもそうで

	<p>すが、うまくいかないとか内輪もめが起こるとかいろいろあるので、そこがどうかと思います。教員を休ませるためにある制度なのだろうと思いますが、教員がいろいろなところで活動する、出かけるというのは何か矛盾がありますね。自分がやりたいという教員はやってもいいというようなことになっているのはおかしいし、教員はもう部活動に携わるなというようになればもっとはっきりすると思います。</p>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・その辺も最終的な結論になろうかと思っています。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・協会や連盟と中学校の関係性ですが、先程柔道の話がありましたが、私の知っている限りで言うと、協会や連盟が主催の中学生対象の大会は、協会や連盟の方は若干の協力はしてくれますが、結局は中学校の教員が中心になって大会を運営します。また、運営費などはバックアップしてもらいますが、結局は参加校が参加費を払って参加します。中学校の顧問がその競技を専門的にやっていて、兼職兼業でもやってもいいという教員は、そこにやりがいやチームを育てて参加したいと思っていますけど、学校の中の組織でやむを得ず顧問に充てられた教員はそれほどでもないという思いをもっています。中体連主催の新人大会が廃止されたので中学校の部活動担当教員の負担が著しく減ると思って期待をしていたら、結局、協会や連盟が主催の新人戦が残っているので、保護者や生徒たちは協会や連盟が主催の新人戦があるのであれば、出場したいということで、結果的に土日に部活動に出ないといけなくなり、負担は全然減っていないというのが現状です。ただ、校長として、あれは新人戦とはいうけれども中体連が主催ではないから出なくていいという判断をすればよいことではあるのですが、保護者の思いや生徒の思いを考えるとそういうわけにもいかないところがあります。全ての競技に共通しているわけではないですが、そのような感じを受けています。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・私は益田市文化協会を代表して出席していますが、全体を見ると文化協会は全くなおざりにされてきたというのが実感です。これではいけないので、これから地域活性化も含めて、人口減少時代に文化関係ももっと盛んにしていけないと街はさびれるというのが私の実感です。今回の協議の中の課題は全てスポーツ関係ですが、これから文化関係も協議をやっていくと、多分同じような課題が出てきます。先程言われたように、教員の多くは兼職兼業をしてまでやりたくないと思います。部活動の地域移行は国の方針であり、当然県も市町村も取り組まないといけないと思います。文化芸術関係の団体と学校との関りについては、小学校は依頼がありますが、中学校になるとなくなります。私は今までそういうことへの認識が全くなかったので、なぜないのかを考えると、それは関連する下地があったからだだと思います。先生方がそういうことを積極的にやる先生と、少しできないなとかという問題もあるでしょうし、そのあたりの実態が少しわかりませんでした。しかし、現実の姿を見ると小学校はあるけど、中学校は全然ないというのが文化関係の実態です。なぜ中学校でなくなってきたのかということが文化関係の1つの現実

<p>(委員)</p>	<p>で、スポーツ関係もいろいろ課題もあるようですから、そういう点に関連で言いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先程の中学生の文化関係への参加の件は、原因の1つは全員入部制を近年までほとんどの学校がとっていたからです。しかし、ここ数年で全員入部制をやめた結果、入部しない選択をして、例えば、今までずっと一生懸命頑張っていたピアノをもっと本格的に習いたいとか、書道をやっていたけど、その書道の習い事が部活動に拘束されることなく行けるようになったとか、そういうことは出てきていると思います。特に土日にその大会があれば、あなたがこないために大会参加ができないということになれば、どちらを選択するかというと、チームを選択しなければならないということがあったと思います。小学校は部活動が全員入部ではないので、親が習わせたいとか、子供がやりたいという思いでやっているけれど、中学校は全員入部制という縛りがやっぱり大きく影響していたと思います。
<p>(委員) (地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> なぜ剣道は協議をしなかったのですか。 剣道は中体連の専門部がなくなりました。市内に剣道部はありません。地域クラブとしては剣誠館があります。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> すごく細かく聞き取りをしていただきました。財政面、会場面、輸送面などいろいろあります。皆さんそれを聞いてどう思われますか。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 柔道が成功事例の形ではないかという発言をされたと思いますが、柔道の部活動は益田中しかないからやりやすいです。だから、それが成功事例で他の種目に当てはめることができるかどうかということになると決してそうではないと思うので、参考事例として検討するのはよいかと思うのですが、あくまでもこれは益田中1校だけなので、そういうことは少し頭の中に入れながら話し合いをしていただければと思います。
<p>(地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先程の益田中の柔道部の件ですが、柔道部は益田中だけで指導者の方が連盟の一員であるということで地域移行がしやすいと思いますが、今こういった練習方法をとっています。益田中で柔道の部活動をしています。顧問が柔道教室の指導者でもあることから、益田中の柔道部と柔道教室の合同練習ということで、柔道教室の益田中以外の生徒もそこに来ています。ですが、先程言われたように、柔道教室の指導者であり、部活動の顧問でもあるということであまりうまくいっているのは確かです。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前回は発言させていただきましたが、この会議で話し合っているのは、あくまでも休日の地域移行ということですが、最終的には平日の地域移行というところがありますので、そこを根底に置いた形で休日の地域移行を話し合っていかなければうまくいかないと思います。先程の柔道の件もそうですが、平日そういうことができるかというところもありますので、できるというのであれば、それは参考にしなければいけないということになるかもしれないですが、最終的には平日の地域移行というところを念頭に置いて、休日の地域移行をどうしたらいいのかを話し合えばよいと思います。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 益鹿中体連各専門委員との協議結果を見て、ほとんど地域で受け入

れられるのではないかと思います。もうすでに各地域のクラブチームで活動しています。ネックになるのは、地域クラブとして活動しているチームが中体連の大会に出られないところなどですが、全国的に見ると部活動をなくした地域もあるし、中体連の全国大会とかが果たして存続していくのかということになると思います。例えば、中体連の全国大会を開催しますが、山口県は部活動がないから参加選手がいないとなった時に、それではやる意味はあるのかということです。平日も含めて子供たちがスポーツをする場所を作っていくということから考えると、もうすでにこれだけの地域クラブが活動しているので、例えば、平日に活動できるようにするにはこうしてはどうですかというようにサポートしてあげれば、地域の受け皿というのはできるのではないかと思います。それから、私もスポーツクラブを運営していますが、例えば財政面の支援をしてほしいとか、交通手段はどうだろうかとかありますが、それはクラブが工夫するべきで、他からお金を支援してもらって活動するのではなくて、自分たちが活動するのであれば、会費をとって受益者負担で運営していくことをやっていかないと、地域クラブというのは経営できないと思います。私のクラブも毎月8千円の会費を取って運営しているという状況があるので、そこはやっていくべきだと思うし、8千円は高いと皆さんは思われたと思いますが、地域が変われば当然1万円は超えてくるし、都会の方へ行くと2万円3万円というのは当たり前にあります。金額の問題ではなくて、そうやって地域クラブの会費を払ってそれで運営してもらい、そこでスポーツができるという環境を作っていくと、行政がお金を支援し、送迎し、ナイターを設置してではこれからはやっていけないと思います。その辺も含めて、議題の2にもありますが、連携を取りながらやっていく中で、独立してきちんと地域クラブを作って、子供たちを受け入れるということまで作っていくと、いけません。財政面を支援してなど、何とかしてほしいというのが多いですが、そのところを自覚して地域クラブを作り子供のためにやっていくということまで持っていくと、いざ受け皿を作って子供はそちらにいったと言っても子供たちがかわいそうなことになるのが一番申し訳ないという感じがしましたが、正直言うと、もうできるのではないかと思います。

(委員)

・今の意見を聞いてなるほどと思いました。具体的に少しイメージが湧いてきました。協議結果を見て、地域スポーツクラブについて一応何かやっておられ、これをいかに充実させるかということと、課題点についても専門委員それぞれに聞いておられますが、こういう人たちが一堂に集まり、課題について具体的にどうしたらよいかということをお話し合うとよいと思います。やっぱりもう少し実感が湧いてこない、今考えておかないと、前向きな形で進んでいかないと駄目なのでそういうことも必要ではないかと感じました。それから、市とか県とか自治体はいろいろと補助があるのでしょいか。

(委員)

・ないわけではありません。

(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・今の状況は賃上げが進まないなど、いろいろな難しい問題あるから、そういう財政面の問題も含めて厳しい問題はあると思います。具体的なことを、これらの方々もこの推進協議会の前や、推進協議会で一緒でもいいですので集まっていただいて、もう少し実感を感じ取っていただくとよいと思いました。
(地域移行 CN)	<ul style="list-style-type: none"> ・今おっしゃったように、これから専門委員の方の考えと合わせて、協会や連盟の方の意見も聞いていく必要があると思いますので、今後、協会や連盟の方々と協議をしますが、その時に中体連の専門委員との協議結果をお伝えして現状についてお話ししたいと思います。7月の第1回島根県部活動地域移行検討委員会の講演で講師の方が、今後の部活動は余暇スポーツとしての部活動で、競技スポーツは学校外で担っていただくのがよいのではないかとっておられました。そういうことも話しながら、協会や連盟、中体連、中学校、行政と一緒に考える機会をいただきたいという願いをすることを考えています。そして、総合型スポーツクラブやいくつかの地域クラブの代表者の方々と協議をしていくことが今できることだと考えています。協会や連盟の方々とそういった話をすれば、協会や連盟はそれぞれ総会などの会議をしていますので、その場で地域移行の話題が出るとよいと思っています。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化関係については、今までこういったことが全然ないです。今後こういうことを文化関係はやっていかないと、ぎりぎりになっていると非常に危機感を持っています。高齢化して若い人たちが入ってこないです。これが全般的な状況です。人材育成をどうやって取り組んでいくかというのは大きな課題なので、こうやって本気で取り組むのはよい機会です。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動は入らなくてもよいという流れになっているので、そのことを是非伝えていただいて、中学生も勧誘ではないですが、誘って文化活動ができるように少しやってみてください。
(委員)	<p>(2) 連盟、協会、地域クラブ等との連携の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう次の議題に入っていますが、協会、連盟、地域クラブ等との連携の在り方についてですが、先程の中体連の新人大会がなくなったので教員の負担が軽減されると思ったところで、協会や連盟が子供たちのためにということで大会を作ってくれたけど、負担は変わらなくなったという意見がありました。学校としてはどうですか、子供たちのためにあった方がいいですか。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・意見がいろいろあると思いますが、顧問の負担になるから校長が大会参加はやめなさいと言えばそこまでのことなのですが、負担のことを言うと、中学生の出る大会は中学校の顧問だけで運営してくださいと言われる連盟もあるように伺っていますので結構大変だと思います。チームの顧問としてその大会に出るだけではなく、中学部のところは大会そのものを中学校教員で運営してくださいと言われると、協会で審判は手伝うということはあるようですが負担が大きいので、もう少し協会や連盟の方が主催の大会の運営全体について

<p>(委員)</p>	<p>て関わっていただけると中学校教員の負担は減ると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携を取るというのが、なかなか会って話をする機会もないので難しいところだと思います。総合型地域スポーツクラブはペガサスクラブとボアソルテ美都しかありませんが、現在地域クラブで実際にどれくらいの割合の子供たちが地域クラブに通っていて、残りの何人くらいの子供たちが不確定になるのかという具体的な数字も多分これだと出てくるのではないかという気がするのですが、例えば、陸上競技も小学生を指導しておられて、中学生も指導できるという話をすると、やはり指導者がどんどん高齢化して指導者がいないという話をよく聞きます。そこも若い人を引き込みながら経営をするというところですが、それを行政が支援をすることはなかなかできないと思いますが、その足りないところを学校の先生でやりたい人で補充していくなどという連携のところは個別になってくると思います。そこは連携の在り方についてとありますが、難しいところだと思います。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技の専門委員との協議結果を見て、いろいろなやり方があり、それぞれ工夫してやっているのでも、包括的にこうするというのは難しいと思います。また、それぞれが子供のための地域のスポーツのためということを考えながらやっていくしかないと思います。包括的にこうしていくというのではなくて、むしろそれぞれがやっていることを尊重しながら移行していき、そこに漏れないようにサポートする、例えば、遠距離で移動手段がない子をどうするかなど、そういうところを支援するといったスタンスの方がよいのではないかと思います。こうするからついてこいというのではなくて、それぞれやり方がいろいろあって上手くいくのであればそれでよく、うまくいかないのであればそこを助言するというのはよいのですが、やっていることが個々に違いますので先程の意見に賛成です。また、経営という視点抜きにクラブ運営をしてはいけないと思います。そうしないと続かないと思います。とりあえず地域移行はしたけど先細りになり、続かないということになると思いますので、そこが欠けていくと難しいのではないかと感じました。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多分、それぞれの地域クラブの方が踏みきるのに迷う部分が、経営として成り立つのかということだと思います。経営というと金儲けというような感じがしますが、金儲けではなく、組織を運営していくというところで必ず必要になってきます。お金が無かったら活動はできないし、例えば、謝金とか報酬を払うのであれば、そういうお金も必要ですし、そういう経営をどういうふうにしていけばよいのかと、私も教員やめて学校からクラブへ移りましたが、一番感じたのは経営です。子供のためと思って身銭を切って一生懸命やっていたけど、クラブを運営しないといけなくなると、やはり経営になってくると思うので、そこをどうしたらよいのかと。それは学校の中ではわからないと思います。私のクラブでは、遠距離の子供たちの輸送は、例えば平日に浜田から親が送ってきて、練習後に親が迎えに来て帰るといふ子もいます。親による送迎が難しい江津

	<p>の子は、平日、私が江津まで迎えに行き連れてきて、練習後に江津まで連れて帰ります。1日4時間運転して子供の送迎をしています。それを全て地域で受け入れて何とかしてくださいと言われても多分無理で、そこも覚悟してというか、経営の1つとして考えてクラブをやっていかないと、そう簡単にはいかないと思います。そういう話を、例えば、今ここおられる地域クラブの人たちだけでもいいので話をするとか、今すでに会費を取ったり、送迎したりしておられると思うので、その辺を突き合わせて具体的に進めていけば解決できる問題ではないかと思います。連携は今やっているクラブもあるので、取れるのではないかという気がします。</p>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・今、経営という話が出たので少し質問させていただきたいのですが、平日も含めて学校施設を部活動の地域移行の団体が使えるのかどうかということですか。屋外は大丈夫かもしれませんが、平日の授業が終わって放課後の時間です。教員の皆さんもおられるし、文化芸術関係は特に教室の中での活動になるかと思うのですが、それが可能なのでしょうか。経営の部分では施設利用料はとて大きい1つのポイントなので将来どうなのでしょう。
(田原課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設は教育委員会が管理をすることになっています。施設利用にあたっては、絶対に利用できないというように決めているわけではなく、一定のルールの中で貸し出しをして運用しているという状況があり、今のルールで不都合があるということがありましたら、それをどういうふうに変えることができるのかできないのかを含めて協議をさせていただいて、そういう調整をすることは可能だと思っていて、最初から貸せませんというスタンスではなくて、しっかりと話し合いをさせていただいて、調整できるところは調整していきたいと思っています。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状はどうなっていますか。学校の教育活動に支障がなければ利用できますか。
(田原課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・問題は吹奏楽です。音楽室は校舎内ですから、平日の夜に使うとなるといろいろな問題があります。
(田原課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・どういうやり方ができるかというのは、協議でどう調整をするかというところに尽きるかと思っています。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・そこは教育委員会で少し頑張ってもらわないといけないと思います。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行ということで、前日も申し上げたのですが、私は競技かるたで週5回、平日3日、土日2日で4ヶ所でやっています。それで成功しましたが、どういうものがあったら地域移行できるかと考えたのですが、あくまで自分の個別のケースですが、条件が6個あると思いました。1つ目が場所の確保で、場所を借りるのに無料ではなくお金がかかる場所もありますので、その財政面をどうするかとなるとまた別の問題が出てきます。2つ目が指導者で、私の場合は仲間と4ヶ所でやっていますが、それぞれの仲間を作ってやらせてもらっています。3つ目が予算です。かるたは道具は多く

	<p>ないので、サッカーや野球などに比べるとそれほどかかりませんが、お金はかかるので受益者負担ということで保護者からお金を集めます。4つ目が道具です。結構お金がかかりますが、ここまでの4つは確保の問題になります。5つ目がある程度引っ張っていく人間です。号令をかけて、ビジョンを持って引っ張っていく人間が必要だと思います。6つ目が協会や連盟との関係性をしっかりと持つということです。平日の夕方の時間帯となると、子供の輸送という問題があると思います。ですから、私が吉田と西益田と六日市という3ヶ所でやることで、それぞれの周辺の子供たちが保護者送迎で来られるようにといった方法もあるし、ボアソルテ美都のように車の送迎もあり、これは一番大きい問題で、やる気があって、場所もあってという方がおられても、1ヶ所でやっていたら地域活動はできてしまうし、そうすると都市部ということになってしまうところがあります。そうすると予算の確保の問題が出てきます。児童生徒の確保ということに繋がるとは思いますが、私がやってみて思ったのですが、働き方改革で学校にチラシ配布をお願いすることにためらいがあります。配ってくださいと学校に持っていっても校長判断ですが、仕分けしてボックスに入れて担任が配るだけでも結構な負担になるので、そういったところは昇降口に置いて勝手に子供に取らせるという方法になることもあるし、その時の校長の判断にもなるのですが、そこがクラブ指導者にとっては死活問題で、できれば全戸に配布してもらい、1人でも多くの方にチラシで目に触れただき興味を持っていただいてということで、地域移行で経営の話も出ていますが、例えば、明らかに営利の団体ではなくて、地域の子供たちのために何かしようと思っているスポーツや文化系の団体については、各学校は配慮してあげてほしいということを教育委員会の方で言っていただくとか、そういった話が出るとよいと思っていました。最後に教員が地域クラブの指導に携わるかどうかで、私も無報酬でやりがいでやっています。部活動を地域移行していくにあたって、指導者としておそらく教員で私みたいな方がきつといて、中学校の先生が多いと思うのですが、携わりたいと思って兼職兼業となった時に報酬はどうなるのか、その団体で出すのか市で出すのか、働く時間の問題の話も今後は詰めていくのだろうと思いますが。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兼職兼業については、例えば私のクラブで先生がサッカーを指導したいと言って来られて兼職兼業で報酬を支払わなければいけないとなった時に、私のクラブが出すのは当然だと思っていて、それを行政に出していただくのは少し筋違いで、クラブから出すのではないかという感覚です。 <p>(房野参事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兼職兼業については、やりたいものしかできないです。協会や連盟など、いろいろながらみでやらせるということはまず出来ないということと、本業が第1で、本業に支障があれば出来ません。支障があるのはどういう場合かということ、本業の超過勤務と、例えば、サッカーであればサッカークラブの指導に携わる時間を足して、超過勤務の時間が大きければ許可できないというような解釈で、そう
--	---

(委員)	<p>いう方向になるのは多分間違いありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中体連の大会と、協会や連盟の大会は、お互いに審判をやったり運営をしたり手伝いに行きますが、特に協会や連盟の大会があると教員が抜けます。中学校の教員がどんどんその大会に出て、残った教員で授業をしていかないといけません。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・今はそういうことはありません。今は協会や連盟が主催する新人戦と呼ばれる大会は必ず休日です。平日に開催される大会は、6月にある中体連の益鹿ブロック大会のみになったので、教員の授業運営に支障があるような日にはなっていないです。市総体予選のみになったので、授業運営に支障があるような大会の日にはなっていないです。
(委員) (委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・それはきちんと整理ができたのですね。 ・できていますが、大会参加のために土日に2日間出ないといけないことがあります。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった持ちつ持たれつというのがあるから、この大会は特勤手当を出さないとか、なかなかこの線引きが難しいところもあるし、放課後の毎日の練習に手伝いに来ていただいて、これは協会や連盟で手当を出すのか、教育委員会が出すのか、学校が出すのか、どこが負担するのかということも難しいところだと思います。それから会場の問題で、ナイター設備はグラウンドでは必ず必要になってきます。特にもう夕暮れが早くなる9月から屋外でやる競技は絶対にナイター設備が必要になります。ナイター設備があるところのできる競技はいいけど、県立サッカー場ももう少し使いやすくなれば夕方方の活動もしやすくなると思います。益田市には県や市の施設がいろいろありますが、県の施設ももう少し使いやすくなるように要望をしていかないといけないと思います。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいですね。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・そういうところが県と益田市との連携とかがもう少しうまくいく方法はないのかなと思います。吹奏楽や合唱もグラントワをうまく使えるようにとは思いますが、一般公募でいろいろな人が使うので、例えば、第3土曜日は必ず益田市の中学校の吹奏楽部はグラントワで練習やるので予約しようと思ってもできません。毎月行って予約できませんから大変です。そういったところを例えば、中学生のためにきちんと定期的に会場を確保してくれると吹奏楽や合唱もやりやすいと思います。それが出来ないと、将来どこかの中学校を借りないといけません。それで借りると、その生徒はそこで練習が一緒にできるけど、そこだけでやりたいと思っている学校を使ってやるわけにはいかないから、その調整が難しくなる気がします。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・グラントワは1年前からいろいろな団体が予約しているらしいです。だから吹奏楽や合唱も定期的に会場をできるようにすればよいのですが、いろいろな団体が1年前からそれぞれ予約しているから今のままでは使えません。だから何もかもではなくて、重点的にこれは外せないというようにして決めて、それ以外の団体を軽視するわけではありませんが、期日を変更していただくなど優先順位を決めるような仕組みを思い切って作っていかないと進まないと思いま

<p>(委員)</p>	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会や連盟との協議ですが、それぞれ回るのですか、それとも全員に集まっていたのですか。
<p>(地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ回ります。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うまくいっている団体と困っている団体が一堂に会することでノウハウとか、このようにやると上手くいくとかいうのをお互いに共有することでうまく進み始めることもあるので、そういう場があるとよいと思いました。
<p>(地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とりあえず個別に協議をして、その後に全員が集まって協議する必要があるれば、そうした方がよいかと思います。各競技の現状や益田市の方針をご理解いただいたり、各協会や連盟のお考えを伺ったりするのが今回の目的です。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この協議会を設置したというのはホームページに掲載され、全ての中学校のPTA総会でも教育委員会が説明をされました。しかし、知っている人は知っていますが、知らない人は本当に関心がないという保護者や地域の方の実態もあると思います。昨年、働き方改革で、教職員の時間外労働が深刻だということで広報ますだにも掲載していただき、今こういう動きの中で推進協議会が設置されました。それから各競技団体との協議もしたり、今後アンケートも実施したりしますということも全戸に届く広報ますだで市民の皆さんに周知していただいて、そして、中学校は全員入部制ではないので、拘束されることなくやりたいこと、もっときわめたいこと、例えば、書道をやりたいとか、写真をやりたいとかいうようなところをPRするページがあるとよいと思います。先日も益鹿中体連の関係で集まりましたが、鹿足郡は若干、益田市に比べて遅れていて、地域クラブを立ち上げているけど、それを県中体連に申請をすることで中体連の大会に参加できることも知らない地域クラブもあるのではないかという話題も出て、もちろん中体連の大会に出ることが一番目的ではなく、別の大会に出るから自分のクラブは中体連の大会を目指しませんというのがあってもいいのですが、そういうことも知らない人も結構多いのではないかと思います。先般ソフトボールの地域クラブを設立した方が、募集のチラシを持って各小中学校を訪問され、私の学校にもソフトボールクラブで中学生を広く募集しますと来られました。こういう動きもあるのかと中学校の方はたいへんありがたいと思いましたが、そういった動きもあることも市民の方に広く知っていただくために、広報ますだでPRしていただくとよいと思います。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次の議題に入るかもしれませんが、児童生徒、保護者、教職員へのアンケートについて、これは今から実施されるということによろしいですか。次回の2月の会議に、その結果が示されるということですか。
<p>(地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。その予定です。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の意向が一番重要だと思いますので、このアンケート結果をベースに、児童生徒の意向に沿えるような組織づくりというのが

	<p>一番大切だと思います。</p>
(委員)	<p>(3) 児童生徒、保護者、教職員への意見聴取について</p>
(田原課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の議題に入りますが、部活動地域移行コーディネーターの方で、中体連の専門委員に意見を聞いていただきました。今度は各協会や連盟の担当の方と、中学校の専門委員から出た意見も踏まえて協議をされ、それから2つの総合型地域スポーツクラブとも協議をされるということです。アンケートもしますが、方向性としてアンケートをして児童生徒の結果がどうなるかわかりませんが、中体連の専門委員や協会や連盟と協議をした結果を見ると地域移行しても大丈夫だという方向で進めていくということでもいいですか。例えば、アンケートをしてその結果、地域移行はしませんではなくて、あくまでも地域移行を進めるということですね。
(地域移行 CN)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的には地域移行については市の方針をすでに出していますから、その方針に基づいて進めていくにあたって、子供も含めて関係者の意見を聞いた上でこういった形で進めるのかという、その材料としてこれを使いたいということです。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒、保護者、教職員へのアンケートをご覧ください。これは、他県のいくつかのアンケートを参考に作ったものです。アンケート対象者は、小学校5、6年の児童とその保護者、中学校1、2年の生徒とその保護者、そして、全教職員です。今は紙ベースで作っていますが、マイクロソフトのフォームスで行いたいと思います。回答によって質問の順番が自動的に変わるように編集します。小中学生は学校でタブレットを使って教員の指導の下で一斉に行い、保護者と教職員については、パソコンやスマホ等で出来るときにやっただく予定です。また、実施前にアンケートへの協力依頼の文書を配付したいと思います。実施の際には益田市学校部活動の地域移行に係る基本方針の簡易版の内容を確認した上で回答していただこうと思います。ご意見等ありましたらお願いいたします。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの地域クラブの種目の選択のところですが、ある程度の種目は入っていて、さらにその他とありますが、その他を書く児童もいるかもしれませんが、選択項目がたくさんある方が選びやすいと思います。実際に私が総合型地域スポーツクラブを設立する前に、小中学生と一部の高校生や大人の皆さんにアンケートをとった内容ですが、現在開設されている部活動の競技だけ例示するのではなく、1からやりたいという部分もあると思いますので、実際にやってみようという競技ということで小中学生にアンケートを取ったら、バドミントンがやりたい競技で中学生は1位、小学生も上位でした。中学校の部活動にはないけど授業はあると思います。そういった、例えばかるたや茶道や華道とか、いろいろな活動内容が入っていると、総合型地域スポーツクラブなのでそこから選んでいく形が取りやすいと思いました。そのアンケートの希望順位の上位から何とかしてクラブを設立していきたい、サークルを作りたいということで今活動をしています。実際にバドミントンを設立し、子供が一番多いのが

<p>(委員)</p>	<p>バドミントンです。もちろんソフトテニスも子供は多いですが、バドミントンが多く、それも全部親子での参加です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化関係ももう少し選択肢を細かくしないと関心が向かないと思います。
<p>(地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブ等の選択肢は、無いものを入れると現在あると勘違いされると思います、今確認できているものだけを入れたのでこのような選択肢になりました。現在ある地域クラブとやりたい活動内容では回答する結果が少し違ってきますね。やりたいものはと聞かれると、現在はその活動内容の地域クラブはないけど、やってみたいと答える子供も出てきます。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にあった方が判断しやすいのではないのでしょうか。最近特に気になっているのが、山陰中央新報の文化教室もありますが、松江と出雲はありますが、最近益田はないですが。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の間3について、かるたや書道や華道もあるので、多い方が選択しやすいのでは。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あれば選択しやすいのではないのでしょうか。実際に地域に団体を活動しておられる方がいますので。私のクラブの会員もかるたをしながらバドミントンをずっとやってきて、中学校に入ってやっぱりかるたを専門的にしようという子もいました。
<p>(地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、先程の箇所については少し選択肢を増やす方向で検討させていただきます。それから小学生のアンケートの間5で社会体育部などがありますので、その他の選択肢を入れる必要があると思いました。また、中学校の入部可能な部活動の表は実施直前に各中学校に確認が必要だと思います。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをいつ実施するかによっても違うと思いますが、学校も部活動について新入生に向けて説明をしなければいけないと思っているところですので。
<p>(地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール的には12月中か、遅くても1月を考えています。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1月にしていただいた方がいいです。中学校は12月中に6年生を意識した入部可能な部活動を明示するスケジュール感だと思います。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の間4の中学校の部活動に入部しようと思いますかですが、データとして分けて集計する必要があるというのであればこれでよいと思うのですが、運動部と文化部の選択肢を分けるのは何か意味があるのでしょうか。単に部活動に入るか入らないかではいけないのかと思いました。運動部か文化部で悩んでいる子は選択肢でわからないを選び、その数が増えてしまうので、どちらのデータを取りたいかによって、あえて運動部と文化部を分ける必要があるかどうかと思いました。
<p>(房野参事)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校によっては複数の部に入部を認める動きも出ています。だから運動部だけ文化部だけではなくて、両方の部活動であったり、あるいは学校の部活動も入っているけど地域の習い事とかクラブにも入ったりしています。両方の活動も認めるという動きになってきているので、それに応じた答え方にした方がよいかもしれません。部活動が入ったらそれだけ一本やれという昔のやり方と変わってきてい

<p>(委員)</p>	<p>るのは、部活動の地域移行には進めやすい状況を学校が作ってくれているのではと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択肢をもう1回考え直した方がよいかもしれません。今実際に、私のサッカークラブに来ている子たちも陸上部に入っている子もいます。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今頃そういう柔軟性が随分あるのですね。しかし、本当は困惑すると思います。例えば、吹奏楽部である楽器をやっている子が1人しかいませんでした。ところが、その子はピアノを習っていました。ピアノの発表の練習があるから今度の日曜日に行かないといけませんが、その子がどちらを選ぶかなのですが、もし私が吹奏楽の指導者だったら、あなたはこっちに出なさいということになると思いますが、子供の選択権はあるからいいけど、団体の全体をまとめていく指導者としては非常に困るだろうと思います。その辺は全部多めに見ているのでしょうね。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに困ると思いますが、どちらを優先するかは子供に考えさせるしかないと思います。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5,6年生保護者向けの問4のところに、令和9年度から休日の部活動の地域移行を完全実施することを目指していますと書かれています。私も中学校長会で進捗状況をお話した時に、令和9年度になったら土日は部活動をどの部も全てしないということを前提にと教員たちが思うように、校長としてどうなのだろうと、それを教育委員会からもアピールというかPRしてもらった方がいいのかどうか、その辺の意見を校長先生方に聞きました。そうしたら意見分かれまして。やりたいと思っている部活動があつて、土曜日に部活動をしたいと思つて入っている生徒、それから教職員もいるかもしれないから、必ずしも完全実施イコール全ての部活動を土日にしないと思つていない校長もいれば、これを言ってもらふことで土日は全て部活動をしないで済む、というような方がいいと思つている校長もいて、意見をまとめることはできませんでした。今日この会があるので意見を聞いてみたのですが、完全実施とここに書かれています、目指すと書いてあるのでどちらともとれると思つていました。
<p>(地域移行 CN) (委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この文言は、基本方針の本文をそのまま掲載しています。 ・あくまでも目指すということで、できないという可能性もあるということですね。
<p>(地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そこの文言を変えると誤解が生じるかもしれないので、合わさないといけないと思つていました。
<p>(委員) (地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・性別は男女の2つでよろしいですか。 ・他県のアンケートもいろいろ見ましたが、それ以外の選択肢が入つているものはありませんでした。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか難しいところですね。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・答えないこともできるのでですね。例えば空欄でもつてとか。
<p>(地域移行 CN)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね、回答の強制はできません。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、チェックしないと次に進まないとか、提出できないとかいうことではないですよ。

(地域移行 CN)	・チェックしないと次に進まないということはありません。必須の部分は設定できます。
(房野参事)	・それだからといって答えなくていいというふうには取れないので、そこは。
(委員)	・その辺の注意書きを何かイメージしておくと、答えたくない子についてはかなり減ると思います。選択肢として入れないのであれば。
(房野参事)	・問1の前だけではなく、全体にかかるように、答えたくないとか、回答しにくいものについては空欄で構わないという趣旨の文言を入れるとよいと思います。
(委員)	・学校で一斉にやりなさいという時に、男女というところをやらされるというのは、それはそれでつらい子がいるかもしれません。
(地域移行 CN)	・答えませんとなるとそれまでだと思います。強制力はありません。
(房野参事)	・悩むから最初のところに1つだけ。
(地域移行 CN)	・そうですね。それで、このアンケートそのものを全て拒否する子がいれば、それは回答しなくてもよいと思います。そういった関係のことは学校宛ての依頼文書の文言に記述します。
(委員)	・アンケートで全体的な傾向を取って、この協議会の資料にするとか、ホームページ上でアンケート集計結果を公表するとかの鏡文を作ると言われたので、アンケートの実施目的やどのように公開しますというのは書かれるとは思いますが、ぜひお願いしたいのは、学校によっては議論をし尽くした上で部活動をなくして1つにしたのに、また再燃をさせるといふか、また部を作ってもらえとかの期待を持たせるようなことや、学校が主催でアンケートをしているかのように思われることを少し懸念している学校もありますので、実施主体や実施目的とかを鏡文の中でしっかり書き込んでいただきたいと思います。そうなった時に、先程意見が出ましたが、男女を聞く必要があるのかどうかということもあるかなど。集計した時に、男子のみの部活動や女子しか入れない部活動とかがあれば、傾向を知る手段なのかもしれません。
(委員)	・他にアンケートについて何かありますか。よろしいでしょうか。
(地域移行 CN)	・それでは定刻になりましたので、以上で第2回推進協議会を閉会いたします。
問合せ先	教育部学校教育課 電話 0856-31-0445